

平成 26 年 1 月治験審査委員会議事要旨

日時：平成 26 年 1 月 20 日（月）17:20～18:00

場所：独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター 大研修室

出席者：藤兼俊明副院長、西村英夫特命副院長、藤内智臨床研究部長、岡田令事務部長、及川節子看護部長、櫻庭孝行企画課長、橋本一彦外部委員、小島治士外部委員、遠藤雅之薬剤科長

委員長：藤兼俊明副院長

治験管理室：堀、金野

議題1「関節リウマチ患者を対象としたBaricitinibの長期安全性及び有効性を検討する多施設共同第Ⅲ相試験」

依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・新規の治験受託に伴い、治験責任医師より治験内容説明、質疑応答がなされた。
- ・治験依頼書（2013 年 12 月 25 日）治験実施の妥当性について審議した。
審議結果：承認（西村英夫特命副院長を除く全員）

議題2「COPD患者を対象としたKRP-AB1102Fの配合意義試験(第Ⅲ相)」

依頼者 杏林製薬(株)

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2013 年 12 月 10 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）

議題3「COPD患者を対象としたKRP-AB1102Fの長期投与試験(第Ⅲ相)」

依頼者 杏林製薬(株)

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2013 年 12 月 18 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）

議題4「日本イーライリリー株式会社の依頼による関節リウマチ患者を対象とした Baricitinib の第Ⅲ相試験(JADV)」

依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2013 年 12 月 6 日）（2013 年 12 月 20 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・治験に関する変更申請書（2013 年 12 月 20 日）その他（症例報告書の見本）の変更について審議した。
審議結果：承認（西村英夫特命副院長を除く全員）

議題5「COPD患者を対象とした製造販売後臨床試験」

依頼者 グラクソ・スミスクライン株式会社

【報告事項】

- ・緊急の危険を回避するための治験実施計画書からの逸脱（2013 年 12 月 16 日）について報告した。

議題6「第一三共株式会社の依頼による肺癌患者を対象とした Nimotuzumab の第Ⅲ相試験」

依頼者 第一三共株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2013 年 12 月 4 日）（2013 年 12 月 11 日）（2013 年 12 月 20 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）

議題7「HMG-CoA 還元酵素阻害薬で治療中の患者を対象とした K-877 の長期投与試験」

依頼者 興和株式会社

【審議事項】

- ・ 治験に関する変更申請書（2013年12月20日）の変更について審議した。
審議結果：承認（西村英夫特命副院長を除く全員）

議題8「COPD患者を対象としたKRP-AB1102の第Ⅲ相試験」

依頼者 杏林製薬株式会社

【審議事項】

- ・ 重篤な有害事象に関する報告書（第3報 2013年12月18日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・ 安全性情報等に関する報告書（2013年12月18日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）

議題9「循環器疾患の既往又は高リスクを有する中等度の慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としたフルチカゾンフランカルボン酸エステル／GW642444 吸入用散剤 100 mcg／25 mcg 投与時の生存率に対する有効性をプラセボと比較する臨床アウトカム試験」

依頼者 パレクセル・インターナショナル株式会社

【審議事項】

- ・ 安全性情報等に関する報告書（2013年12月12日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）